

農福連携の 現状と効果

佐賀県障害福祉課 就労支援室

農福連携コーディネーター
吉浦由美子

農福連携における 作業実績

10月末現在、農家さんやJAなど
21か所からの委託を受け
31の事業所さんが
農福連携に取り組まれています。

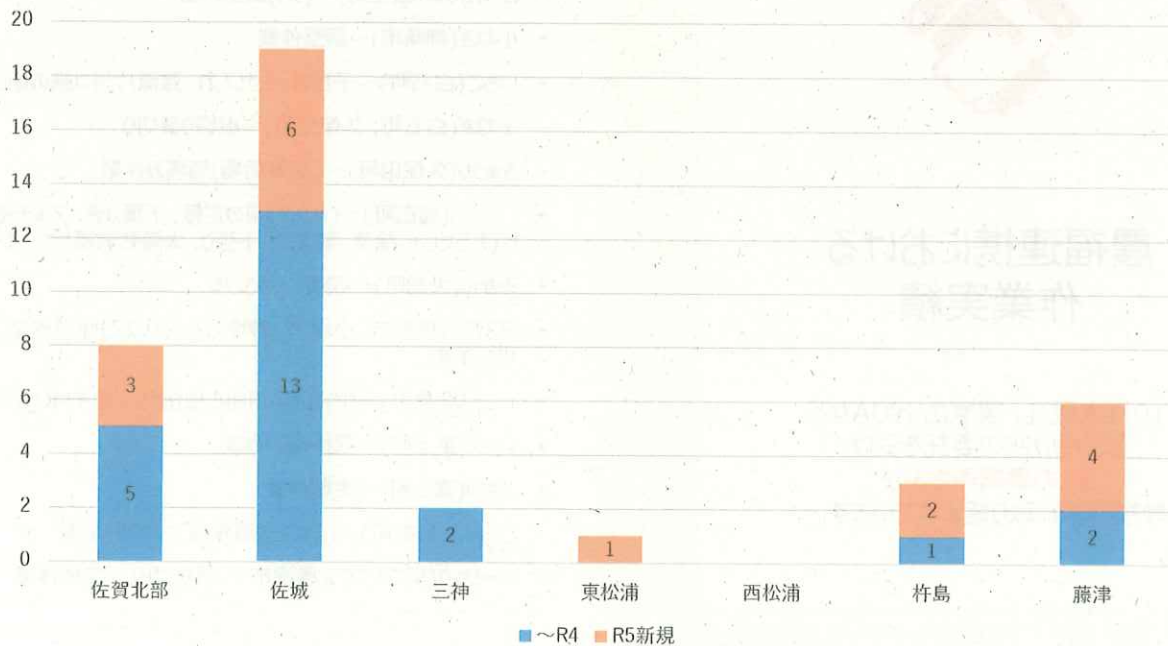
【委託作業内容】

- ほうれん草(富士町)～(JA)調整作業
- 小ねぎ(神崎市)～調整作業
- いちご(白石町)～子苗ポット土入れ、残渣片付け株の切り取り作業
- 玉ねぎ(白石町、久保田町)～根切り葉切り
- きゅうり(久保田町)～(JA集荷場)箱積み作業
- " (塩田町)～(ハウス)苗の定植、下葉かき、マルチ張り・留め、片付け(ガラだし)、除草、防草シート張り、太陽熱消毒ビニール張り・片付け
- みかん(大和町)～収穫、テボ交換
- アスパラ(佐賀市、小城市、神崎市)～(ハウス)除草作業、刈り取り持ち出し作業
- トマト(鹿島市)～(内職)誘引紐の取り外し、巻き付け作業
- レタス(富士町)～収穫補助作業
- パセリ(富士町)～定植作業
- ピーマン(脊振町)～(JA共同選果場)ヘタ切り作業
- ハーリック(葉ニンニク)(唐津市)～球根ばらし、定植作業



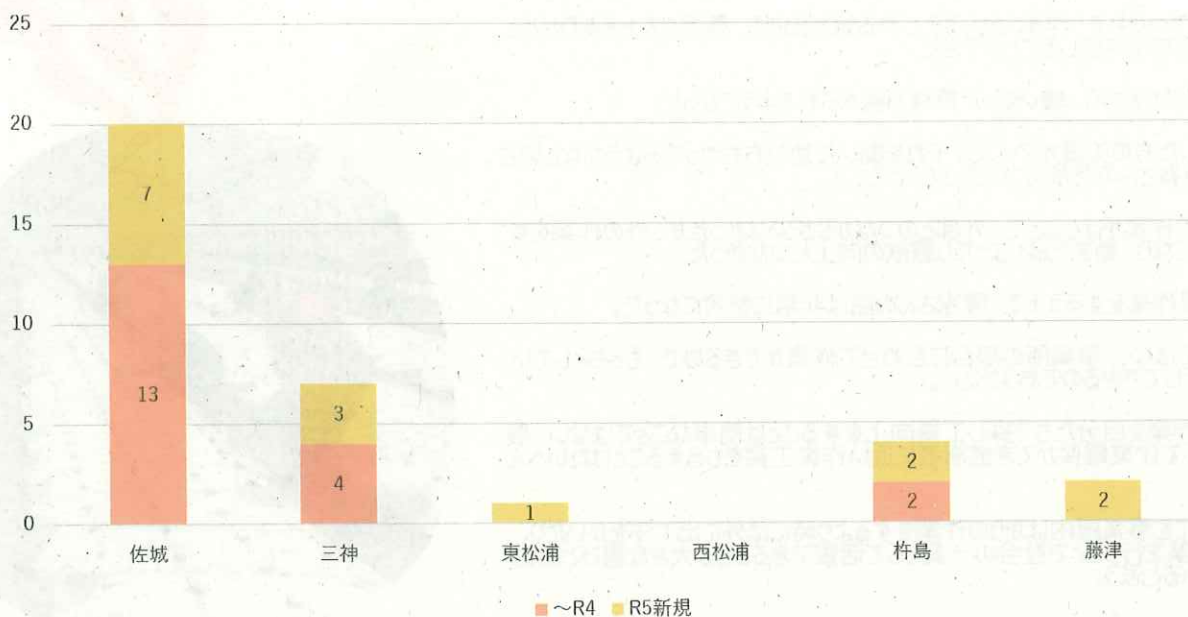
農福連携取組み農業者の現状

地域別農福取組み農業者数



農福連携取組み事業所の現状

地域別農福取組み事業所数



農福連携の効果～

農福連携に関するアンケートから①～

【農福連携へのイメージ】

- 難しい！たいへん！！
- 農業のお手伝いというイメージで工賃も安いのでは？
- 農作業をしたことがないので二の足を踏んでしまう。

【農福に取り組んだきっかけ】

- もともと事業所内で農作業をしていて農作業に興味を持たれている利用者さんが多かったので、農家さんが野菜作りに向かう姿勢やノウハウなど吸収できたかと思ひ始めた。
- 以前に農福連携の話聞いて興味を持っていたところに、作業依頼の話があり始めた。
- 事業所でも仕事を探していたが、コーディネーターから作業の紹介があり取り組んだ。
- 事業所で作業として農作業をしていたので農福への関心はあったが、事業所から近い農家さんの作業の紹介で、料金も良かったし、事業所に持ち帰ってできて、無理なくできる作業だったので取り組んだ。



農福連携の効果～農福連携に関するアンケートから②～

【農福に取り組んでよかったこと】

- 利用者さんのそれぞれの作業力の差はあってもチームで作業するのでやりやすかった。
- 作業を続けていく中で、作業力が向上しやる気が出たり、農家さんからありがとうと言われて達成感を感じることができた。
- 一連の作業にかかわり、嫌いだった野菜が食べられるようになった。
- 作業に参加した方の工賃がアップし、それを聞いた他の方もやってみようかなと思われ、他の利用者さんの参加につながっていた。
- 事業所内での作業がほとんどで、外部とのつながりが少なかったが、外の作業をすることで刺激になり、動きが良くなったり意欲の向上につながった。
- 事業所でも農作業をするうえで、農家さんの話は非常に参考になった。
- 通年の作業ではなく、事業所の都合に合わせて作業ができるので、もともとしていた作業と並行してできるのでありがたい。
- 職員にとって作業を自分たちで探し工賃向上をすることは簡単なことではない。農福連携を通して作業確保ができ健常者に近い作業工賃をもらえることはたいへんありがたい。
- 利用者にとっても事業所内ばかりの作業をするより時には外に出て汗をかいったり、農家さんと作業を行うことで社会の一員として活躍できることは大きな喜びと自信につながっていると思う。



おわりに…



県内での農福連携への期待は増す一方ですが…

まだまだ取り組んでいただける事業所が足りません。

農福連携に関心がある方、農業は経験がないけど始めてみようかと思っている方…

あなたの事業所でも、農業で工賃アップを目指してみませんか？